

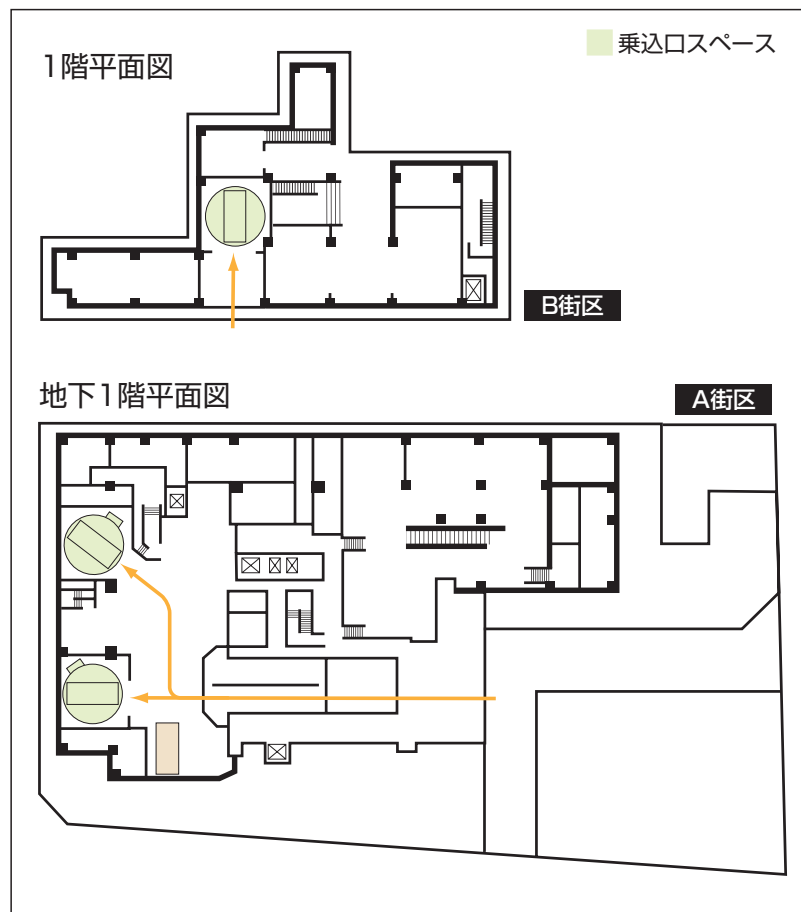


B街区乗込口

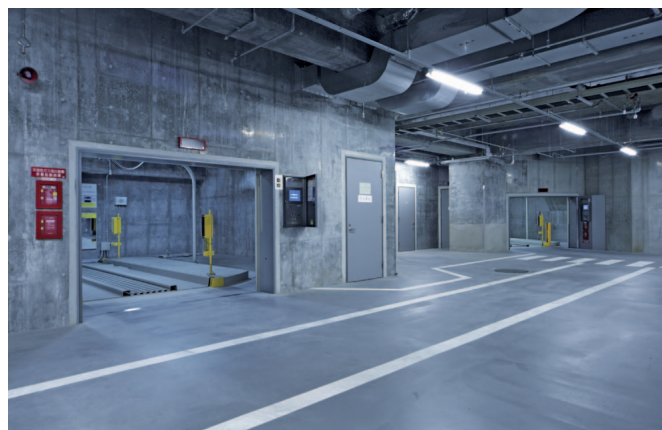


タッチパネル操作盤

ショップが人気です。
「リガール」は結ぶという意味。公募によって決まった名称には「人と人を結ぶ場所でありたい」という願いがこめられています。
かつては江戸の商業の中心地であった日本橋。今も新しい発展を続けるこの街にふさわしい、粋なデザインのランドマークが誕生しました。



内蔵型ターンテーブル



A街区乗込口レイアウト

入庫操作がなめらかなLEVELパーク

多数の住民が暮らす高層住宅と地域のコミュニティが共存するリガール日本橋人形町から、パーキング設備として選ばれたのが日精の水平循環方式LEVELパークです。振動や騒音を抑え、操作性に優れていること、乗り込み口の省スペース化が可能で入庫時間の短いことが、採用の決め手となりました。
A街区に二基(収容台数/計六十三台、B街区に一基(同/五十七台)の計三基のLEVELパークを導入することで、百二十台の収容を実現(そのうちハイルーフ車仕様は十九台)。B街区の設備には、前進入庫ができるように、ターンテーブルが内蔵されています。
新しい住まいでの毎日の暮らしを、日精のパーキングシステムがサポートしています。

リガール日本橋人形町

江戸の「粋」がテーマの街づくり

江戸情緒を今に伝える歴史の街、日本橋人形町に、高層マンションを中心とした新しい街角が生まれました。

リガール日本橋人形町は、ふたつの街区からなる再開発事業(日本橋人形町一丁目地区第一種市街地再開発事業)です。

A街区には、高さ百四十一メートル、地下二階地上三十九階建ての高層棟が建築されました。上層階に三百三十五戸の住宅が入り、一・二階には店舗や事務所が入居しています。

B街区には地下一階・地上三階建てで、商業施設やオフィス中心のリガール日本橋人形町アネックスが建てられています。

当初は、高層マンションのみで始まった再開発でしたが、中央区呼びかけで六十人ほどの地権者が集まり、合わせて三千三百平方メートルの敷地での計画に広がりました。そのため、地域に祀られてきた茶の木神社や町会事務所も街区内に再整備され、中央区の公共駐輪場も併設。地域住民の憩いの場としての広場

も作られています。

施設デザインとしては、江戸時代の下町文化を残す日本橋人形町の歴史をふまえ、「粋」がテーマに選ばれました。ねずみ色を基調とした縞模様からなる外観は、江戸の粋を表しています。

高層の住宅棟は、スーパードラッグストアム工法により、各フロアでの自由な間仕切りが可能となるスケルトンインフィルを実現しました。また、建物中央のH型のコア壁・スーパードラッグストア・コネクティング柱、オイルダンパーから構成される制震工法が用いられています。

低層階では、落下防止庇と樹木の植栽で、下町らしさを演出。のれんの似合う商店とあいまって、にぎわいのある商空間となっています。

テナントには、「鮎芳」「うなぎ喜久川」「甘味処 森乃」など和を感じさせる飲食店はじめ、喫茶店やファミリーレストランが入居。そのほか「生活道具屋スロウ」や「きもの工房以和佐」などこだわりの



茶ノ木通りに面するアネックス



新大橋通りより望むリガール日本橋人形町全景

【建築概要・規模】

【建築主】 日本橋人形町一丁目地区市街地再開発組合
【敷地面積】 A街区: 2,451.87㎡ B街区: 792.05㎡
【建築面積】 A街区: 1,434.37㎡ B街区: 579.76㎡
【延床面積】 A街区: 35,799.25㎡ B街区: 2,277.45㎡
【構造規模】 A街区: 地下2階、地上39階、塔屋1層
B街区: 地下1階、地上3階、塔屋1層
【設計・監理】 (株)松田平田設計

【駐車設備概要】

機種 / LEVELパーク《水平循環方式》
型式 / A街区: 1号機 NLPSG3F-11(1)FDT
2号機 NLPSG3F-9FDT
B街区: 3号機 NLPLSR3A-18(1)FDT
収容台数 / 1号機36台
2号機27台
3号機57台 (ハイルーフ車19台) 合計120台